

市独自の繰り入れは2億4千万円に

今年度の国保特別会計へ井之川議員の質疑への答弁

12月議会に国民健康保険特別会計の補正予算のうち、その他一般会計繰入金が1億3,787万6,000円提案され、可決しました。これで今年度の国保特別会計は69億6,823万2,000円となりましたが、市独自繰り入れ（赤字補てん）は、約2億4,000万円となります。補正予算の審議での井之川博幸議員の質疑に市民部長が答弁しました。



井之川博幸市議

国保は、退職者など高齢者（75歳まで）の加入者が多く、支出（診療）が増え、歳入（保険税）が減少するなど、構造的な問題が大きくなり、財政的に厳しくなっています。これは、国保会計に対する国の負担割合が大幅に削減されてから起きている問題です。国の国保負担割合を元に戻すことが一番必要なことです。

しかし、国は法律を変え、来年度から都道府県が国保の財政的運営に加わるようにしました。県の指導で、市町村に財政的健全化を求める動きが強まると予想され、市町村が国保税を引き上げ、加入者の負担が増大するのではないかという心配が強まっています。住民の負担増で国保会計を健全化するなどということは、本末転倒です。断固反対していきましょう。

新給食センター基本設計は福島建築設計事務所が 公募型プロポーザルで優先交渉者に選定



福島建築設計事務所が設計した
富岡市立学校給食共同調理場

市教育委員会は、現在計画している新沼田市学校給食センター整備事業の設計業務を公募型プロポーザルで、公募に応じた3社の中から選定し、優先交渉者を株式会社福島建築設計事務所に決定したと13日開催された総務文教委員協議会で報告しました。

柳波賞はギンモクセイの枝先に

第19回「柳波賞」は、10月17日、ぐんま情報センターで審査会が行われ、福井県坂井市の半田信和氏の「ギンモクセイの枝先に」に決定しました。

一般の部では、558点の応募があり、このほか優秀賞1人、佳作5人でした。小中学生の部では、1,318点の応募があり、優秀賞は利根小学校2年の金子日向君の「ぼくのいえのいぬ」でした。ほかに佳作8人でした。

おのちゅうこう「ふるさと文学賞」の結果

第14回おのちゅうこう「ふるさと文学賞」は、小学生作文の部の応募は295編で、最優秀賞は白沢小学校4年の寺田昂輝君の「がんばれ！オニヤンマ」に、ほかに優秀賞5編、佳作7編、小学校詩の部は応募が315編、最優秀賞は、白沢小学校2年の井上湊太君の「おぼん」に、ほかに優秀賞7編、佳作4編でした。

中学校作文の部の応募は、449編で、最優秀賞は該当なし、優秀賞は5編、佳作は7編、中学校詩の部は、402編の応募で最優秀賞は、片品中学校3年の小林日和子さんの「八木節愛」でした。そのほか優秀賞は4編、佳作は8編でした。

全国ふきわれ俳句大会特選は桐生市の椎名さん

第27回全国ふきわれ俳句大会の入賞者が発表され、一般の部の応募は870句（272人）小中学生の部は5,422句（3,206人）で、一般の部の特選は、桐生市の椎名彰さんの「信心の仮初ならぬ滝しぶき」に、中学生の部の特選は、沼田東中3年の三田康平さんの「夕立が炎天の空ぬりつぶす」に、小学生の部の特選は、多那小1年の「やったやったこんなあついひあいすだよ」に決まりました。

そのほか一般の部では市長賞など15人、優秀賞が20人、中学生の部は優秀賞が10人、小学生の部は優秀賞10人でした。

2017年12月17日	No.862
いのさんニュース	
発行所沼田市下久屋町983	☎23-1519
井之川博幸議員活動地域版部内資料	